平成 26 年度
地域の暮らしを話す会　実施報告書

《平成 27 年7月作成版》

社会福祉法人　泉佐野市社会福祉協議会

（泉佐野市安心生活創造推進事業）

１.「地域の暮らしを話す会」とは

地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは、地域の現状や課題（いいところや困りごとなど）を地域住民で話し合って把握し地域の将来像を考えあう場のことです。

現代の日本は、少子高齢化の進行や非正規雇用の増加により、核家族化のみならず単身世帯の割合が増加しており、家族間・地域住民間のつながりが希薄になるなかで、虐待・ひきこもり・自殺・孤立死や、自然災害への対応など新たな社会問題が山積しています。私たち住民の多くは、地域で安心して豊かに住み続けられることを願っています。そのためには、だれもが地域から孤立することなく、いろいろな生き方を認め合い、つながりを持ちながら生活できる新しい地域社会をつくっていくことが必要です。

「自分たちの生き方やそれに合った地域づくりは、自分たちで決めていこう」といった市民活動の動きが、各地で活発になりつつあります。
新しい地域社会をつくるには、住民の皆さん自らが地域の現状を把握し、「住み続けたい」「住んでみたい」「住みやすい」地域の将来像を考え、それに向かって実践していくことが必要です。

「地域の暮らしを話す会」の目的は「地域の福祉を推進していく」、すなわち誰もが安心して豊かに生活できる地域づくりを実現していくことにあります。地域のそれぞれの実情にあった福祉を進めていくには、まず身近な地域において住民の皆さん自らが望む地域をつくることが大切です。そのためには、地域の課題を確認し、地域の将来像を語り合う、その時々の時代にあった地域つくりを住民のみなさんが主体的に進めていくためのきっかけとして「地域の暮らしを話す会」を活かしていくことが望まれます。

そこで、泉佐野市社会福祉協議会では、市内１４の地区福祉委員会と協力して、「地域の暮らしを話す会」の開催を推進しています。

2.「地域の暮らしを話す会」の効果

前述のように、「地域の暮らしを話す会」はあくまで自分たちの地域を自分たちでつくっていくための話し合いの場ですが、その話し合いをきっかけにして新たな活動につながった事例を紹介します。

買物支援のための取り組みが動いた事例

①実施経過

平成 25 年度	地域の暮らしを話す会にて、「スーパーが遠く不便」「車がない人は買い物に困っている」などの意見がでる
平成 26 年 7 月	「第 2 次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」作業部会にて買物弱者支援・移動支援についての専門作業部会を開催。買物支援・移動支援について協議
平成 26 年 8 月	泉佐野市と「いずみ市民生協」で移動販売に関する協定を締結
平成 26 年 9 月	市の紹介で、生協と社協CoW（コミュニティワーカー＝地区担当者）で情報交換 ・実施するには、地域の理解が必要だが、生協だけで各町会へ説明に行くのは難しい ・市も特定の企業の取り組みのみを斡旋するのは難しい →「公共性の高い民間社会福祉法人」という社協の立場を活かして、企業と地域との間の調整を社協CoWが行うこととし、「地域の暮らしを話す会」で「買い物が難しい」という意見がでた地区に対して重点的に声かけ（※紹介自体は全地区に対して行った）。「話しを聞いてみてもいい」という返事をくれた地区を社協CoWから生協に紹介した。
平成 26 年 11 月	泉佐野市で生協による移動販売実施
平成 26 年 12 月 平成 27 年 1 月	泉佐野市「平成 26 年度買物弱者・フードデザート問題への対応に関する意見交換会（経済産業省モデル事業）」に出席した社協CoWから、「平成 25 年度地域の暮らしを話す会」の抜粋を配布・報告。

②結果

- 平成 27 年 3 月 31 日現在、泉佐野市内の 7 町 14 ヶ所（東羽倉崎南町＋新安松、東羽倉崎、西佐野台、松原団地住宅、南泉ヶ丘、大木）で移動販売実施。【町会・市・社協CoW】
- 「買物が困難な人はいるが移動販売の実施にそぐわない地域」については、当

該地域における 26 年度の「地域の暮らしを話す会」で引き続き話し合い、他の手段についてのアイデアを出しあった。【地区福祉委員会・社協】

③「地域の暮らしを話す会」の果たした役割

泉佐野市では、介護保険計画策定のためのアンケート調査などを通じて、「買物支援の必要性」を把握していて企画を進めていました。しかし、実際に移動販売事業を進めていくには、停車場所など、地元の町会との調整がかかせません。そういった意味で、「地域の暮らしを話す会」は、地域のニーズ（課題）を地域の役員・社協職員で共有する重要な機会であったといえます。

それがあったからこそ、社会福祉協議会のコミュニティワーカー（地区担当職員）は、各町会長と企業とが協働するにあたっての調整役になれたと考えます。

また、このことから、これからの地域福祉課題の解決に取り組む上では、行政・住民・企業などの間にたって調整する人（コーディネーター）の役割が大切であると考えます。

「コープのお買物便」について

実施主体：大阪いずみ市民生活協同組合（※泉佐野市と協定）

依頼のあった地元町会に移動販売車でやってきて、1 ヶ所あたり、20 分程度停車し販売。商品は、生鮮食品や仏花、惣菜など、コープの店舗のものと同様。

利用者の声

- *買物は人に頼んでいたけど、自分で見て買えるのがうれしい。*
- *皆さんと週 1 回集まるのが楽しみです。*
- *民生委員・福祉委員は安否確認ができる。*

成年後見に関する取り組みを後押しした事例

①実施経過

平成 25 年 8 月～12 月	それまで社会福祉協議会で行ってきた相談支援の傾向から、「地域の暮らしを話す会」において、「金銭管理が出来なくなった場合、親族以外で誰にしてもらいたいか」というテーマを設定。経済的な事情によるボランティア参加だけでなく、社会的に信用される団体に所属する複数人で管理を行う「法人による後見事業が必要」との意見が出る。
平成 26 年 4 月	泉佐野市から泉佐野市社会福祉協議会へ「泉佐野市権利擁護支援センター事業」を委託される。 市が行う市民後見人の養成事業に協力・支援を行うことになる。
平成 27 年 6 月 ～28 年 3 月	大阪府内の市町村共同で実施する「市民後見人養成講座」に泉佐野市も参画する。養成講座には、泉佐野市民も参加。
平成 27 年1月	泉佐野市社会福祉協議会・法人後見実施要綱を制定

②結果

- 市民後見人養成事業を実施【市・社協】
- 法人後見を支援する体制を整備【社協】

③「地域の暮らしを話す会」の果たした役割

社会福祉協議会では、これまで、地域包括支援センターや日常生活自立支援事業などの様々な事業をとおして、高齢者や障がい者の生活を支援してきました。その中で、認知症などの精神疾患や知的な障がいによって、契約書の理解が難しかったり、家計の管理が難しかったりする方々への支援が課題となり、これまでも司法書士や弁護士が後見人になるケースは少なくありませんでした。

地域の暮らしを話す会では「難しいテーマで決められない」という感想も多かったのですが、同じ地域に暮らす人の課題を皆で考え話し合った結果、やはり「専門職による後見以外の選択肢も必要」という住民の意見を多くいただきました。法人後見人は複数の職員がいることでの継続性や安全性が高いのではないかという意見や、市民ボランティアによる後見の必要性やボランティアで行う際に不安な要素などの意見は、社協が市民後見人養成事業・法人後見事業に取り組む後押しとなりました。

その他にも、平成 25 年度の「地域の暮らしを話す会」以後、地域内で定期的に話し合いの場を設け、新たな交流活動に取り組むようになった地域もあります。

3. 平成 26 年度　実施報告

1）開催状況

泉佐野市社会福祉協議会では、泉佐野市と協働で平成 25 年度・平成 26 年度の 2 か年をかけて「第 2 次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画（いずみさのみんなの絆プラン）」の2つの計画を作成しました。

計画の策定にあたり、平成 25 年度に市内の14地区で 2 回ずつ、「地域の暮らしを話す会」を行い、そこで出た意見を「いずみさのみんなの絆プラン」に反映したり、新たな取り組みをすすめるための材料にしたりしました。

平成 26 年度については、地域福祉活動計画とは別に、前項に掲げた目的（地域の福祉を地域住民自らで推進していくための話し合いの場づくり）にそって、平成 25 年度に話し合われた内容をより深めることを目的に、各地区福祉委員会の事務局長・委員長と社協のCoWが中心になって調整を行い、各地区 1 回ずつ開催しました。

《平成 26 年度「地域の暮らしを話す会」 開催日時・場所・参加人数一覧》

地区	日　　時	場所	社協	担当CSW	参加状況
日新	2 月 16 日(月)　19 時～	日新小ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ	3 人	水平会	35　人
佐野台	2 月 08 日(日)　10 時～	佐野台集会所	3 人	社協	19　人
北中	2 月 27 日(金)　19 時～	鶴原町会館	3 人	水平会	25　人
三小	2 月 15 日(日)　10 時～	春日町会館	3 人	泉ヶ丘園	32　人
末広	2 月 20 日(金)　19 時～	東羽倉崎南町集会所	4 人	泉ヶ丘園	33　人
一小	2 月 19 日(木)　19 時～	元町会館	4 人	泉ヶ丘園	37　人
長滝	2 月 04 日(水)　19 時～	長滝第 1 町会館	4 人	常茂恵会	46　人
上之郷	12 月 18 日(木)　19 時～	上之郷小学校・多目的室	4 人	常茂恵会	19　人
大土	1 月 31 日(土)　19 時～	土丸町会館	3 人	常茂恵会	40　人
長坂	3 月 10 日(火)　19 時～	次世代育成交流センター	4 人	水平会	30　人
日根野	11 月 15 日(土)　19 時～	日根野町会館	4 人	常茂恵会	41　人
南中	1 月 21 日(水)　19 時～	南部市民交流センター	3 人	常茂恵会	44　人
中央	3 月 14 日(土)　19 時～	中町町会館	4 人	社協	16　人
二小	1 月 29 日(木)　19 時～	福祉センター	4 人	泉ヶ丘園	34　人
				のべ参加人数	451　人

※　社協からは、各地区担当者（CoW）と、社協に委託されている地域包括支援センター（高齢者の相談機関）と基幹相談支援センター（障害者の相談機関）の2つの機関からそれぞれ 1 名ずつ、全地区に出席しました。

2）当日の内容

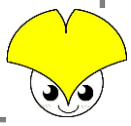
平成 26 年度については前年度に出た意見をより具体的な活動のアイデアにしていくために、参加者で深めたいテーマを1つ選びそれについて話し合うという方法をとりました。これは、「自分たちの地域にとって必要なことを自分たちで話し合う」という趣旨に沿ったものです。

★地域の暮らしを話す会における、基本的な進行の枠組み

司会進行：社協CoW（地区担当者）

時間	内容
開始～15 分	趣旨説明・自己紹介など
15 分～30 分	ｸﾞﾙｰﾌﾟごとでのテーマ決め
30 分～35 分	テーマに対するアイデアを各自でふせんに書く
35 分～65 分	ふせんをもとに、グループごとで話し合い
65 分～90 分	各グループで話し合った内容の発表

【※メモ】
自分の意見を「ふせん」に書くという作業には、2つの意味があります。
①口下手な人でも意見を表明できる
②後で記録をまとめるときに「発言者の属性を外す」
（「誰が言ったか」ではなく「どんな意見か」を重視できる）
少し手間ですが、みんなで意見を出し合う時には大切な手法です。



日頃から地域の福祉活動に取り組んでいる方々が、地域にどのような課題があると感じ、そのためにどのように取り組めばよいと考えているかを明らかにすることは、今後の地域福祉の充実を図っていくうえで非常に大切な情報になります。

似たようなテーマを選んでいてもその地域のもつ歴史性や地理的条件によって出席者の意見は異なります。

《それぞれの地区で話し合われたテーマの一覧》

地区	テーマ（※当日のグループごとで話し合って決定）
日新	挨拶／地域の交流／高齢化が進み子供が少ない／高齢者を孤立化させないためには
佐野台	人の集まれる場所づくり／地域のコミュニティー／ 地域活動の担い手をどのように確保するか
北中	ゴミの問題／明るい町／安全な町づくり／住民同士のつながりのある町づくり
三小	災害時対応／住民同士のつながりのある町／空き家・空き地を活用し若い世代が住めるようにする／住民同士のつながりのある健康な町づくり
末広	南町の地域の活性化について／ペットの飼い主のマナー／住民同士のつながり／地域の困りごと／住民同士のつながりを増やすためにはどうすればよいか
一小	安全な町づくり／高齢者が住みやすい安全で安心できる町にする為 こんな町にしたい／町内の絆／安全、安心に暮らせる町／住みよい街にする為に／住み良い街にする為に
長滝	地域活動の担い手不足／地域の困りごと、いいところ／災害時の助け合い／地域の交流／各種団体の維持、今後の活動募集／災害時の対応、地震など／マナー
上之郷	新興住宅とこれまでからある住宅との交流不足／交通の便（買物・病院等）／ゴミ捨てなどが多くマナーが悪い
大土	若い人が住みやすい町をつくるには／高齢化・若者の減少／若者（子ども）が増える町づくりをする／大木にコンビニを！
長坂	地域の困りごと（マナー）／町内活動を活発にするには／地域の良いところ・元気な高齢者が多い／高齢者が安心・安全に暮らすために／若い世代の活発な活動参加
日根野	住民同士繋がりのある町になってほしい／交通マナーが悪い／交通事情を良くするには／地域の交流がない／町会加入率をアップする／地域住民の交流／住民のつながりのある地域づくりを目指す／災害対策
南中	町会加入者を増やすにはどうすればよいか／楽しく安全に暮らせるようにするには／防災について／地区の防災について
中央	助け合えるまちづくり／高齢者が元気になる街づくり／町内の高齢化について（認知症のある方への対応も含めて）
二小	災害が起こったら不安なことと、各自や地域で備えること（※全ｸﾞﾙｰﾌﾟ共通）

開催時に配布したチラシ

お知らせ　あなたの意見、話してみませんか

地域の暮らしを話す会

安心して豊かに住み続けられる地域社会づくりのために、地域でのいいことや困りごと、これからの生活に大切な問題点など、色々話し合ってみませんか？

日時　／　平成●年●月●日（●）●時～

場所　／　★★★★★★★★

参加者　／　どなたでも参加いただけます

≪　◆◆地区福祉委員会　≫

各回で出た意見

日新地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 27 年 2 月 16 日（月）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：日新小学校ミーティングルーム
参加人数：35 人（中庄 8、上瓦屋 8、湊 11、泉陽ヶ丘 8）

中庄支部　挨拶

個人で取り組むこと	
住民同士が仲良く	自宅前での子供へのあいさつ
人に会えば場に応じて声をかける	通学の子供に積極的に声をかけよう
始めは一方的でも積極的に挨拶する	登校、下校の時間、できたら門の前に出て
子供への家庭教育	
袋に入ったゴミを捨てている、どうするのが良いか	
登校、下校の時間、できたら門の前に出ていって挨拶する	
地域で取り組むこと	
祭り、行事が活発	世代間交流の出来る場所を作る
町会、評議委員会であいさつ運動を	ノボリ等を立てる
年寄りの人にも互いに行事等に参加してもらう	
地域で子供さん達を見守る形で挨拶を広めて行く様努力しよう	
行政にお願いすること	
教育委員会で「あいさつ」運動を	特に先生方の認識を
もっと生活道路に街灯がほしい	安心安全な町
放送してもらう	
市役所の方で地域の挨拶の場を設けて頂く形を対応して頂きたい	
市の車で一日一回町内会で挨拶運動をしているので協力をしてほしい	
その他の機関・団体にお願いすること	
あいさつ運動ののぼりを作ってもらう	ＰＴＡ、保護者も認識と心がけを
社協も挨拶運動の放送をしてほしい１日１回	
長生会に小学生の通学等であいさつの指導をしてほしい	
お盆の時や祭りの時青年団や子供会等の他の団体で挨拶をしあうよう言ってもらう	

上瓦屋支部　地域の交流

個人で取り組むこと	
あいさつ運動	子どもに声かけを
積極的に児童の見守りをしたい	
地域で取り組むこと	
自主防災組織の立ち上げ交流	備蓄品の味見をかねての集合
100 円程度のコーヒー程度の会食会を開く	会館の活用
趣味の会立ち上げ(将棋、囲碁等)	高齢者と小学生、園児との交流
同級生の交流の活発化	模擬店の開催
世代間の年代別の交流を	人との交流
クリーングリーンに誰でも参加すれば？	クリーングリーンと隣組長
行政にお願いすること	
集いに補助金を	会館が遠いので年長者が行きにくい
会館以外に集まれる場所を	道路歩道の整備
歩道の段差解消	
公共工事が年度末に集中しすぎ、バランス良よく事業執行を	
その他の機関・団体にお願いすること	
垣根をはずす	ボランティアに若い人を
団体間の連携	福祉委員会がリーダーシップをとる
福祉委員会を充実する（メンバー）	

湊支部　高齢化が進み子供が少ない

個人で取り組むこと	
声かけあいさつ	自分から声かけを心掛ける
一人暮らしの人の声かけ	近所の人と仲良くする
隣人同士仲良くする	一人暮らしを見守りたい
健康に注意し元気に生活できる様心がける	子供を作ること
同居世帯を増やす	自分の事は自分でする
地域で取り組むこと	
子供会と町会の交流	町会の役員は横のつながりを密にする
子供の安全を地域で見守る	福祉での行事を多くしてもらう
隣りの人に連絡先などを知らせておく	話し合ってきまった事は実行する
町内行事に若者がもっと協力してほしい	一人住まいの人に声かけする
ディスコン等の高齢者ができるゲームをする	

行政にお願いすること	
空き家をなくしたい	空き家に若い人を住ます安い家賃で
子供の集まるよい施設が欲しい	高齢者が外に出られる主役
高齢者の暮らしがしやすく	高齢者が参加できる事を考える
働く企業や職場がいる	生活補助（子供を多くもつのに）
子供を多く持てる様国で押し進める	子供、高齢者のパトロールを増やす
古屋を壊しベンチ等を置き話ができる場所を作る	
その他の機関・団体にお願いすること	
小型バスを狭い道まで通す	子育てのしやすく税金や保育所の整備
空き地に住宅を建てる（業者にアピール）	食育について
社協と密に慣れたら	町内に商店がなくなり食の砂漠化をなくす
スパーに送迎バスをだしてもらう	
町会がその他の団体ともっと連携して欲しい	
交流の場が遠いので北方面にできたらいいな	

泉陽ヶ丘支部　高齢者を孤立化させないためには

個人で取り組むこと	
町民とあったら、あいさつをかわす	隣り近所で見かけなければ声をかける
宇宙に興味を持つ（認知症にならない）	教育と教養を身につける
一重百千万を実行する（一日一膳的な）	
友愛ホームで子供達にも高齢者のかかわりを多くする	
ご近所の方々と先ず挨拶する習慣を身につける	
曜日を決めて昼間メンバーで、散歩、声かけする	
地域で取り組むこと	
自治会での集まりを多くする	サロンを継続する
地域力と人間関係	世代間交流をはかる
班別で輪番で声かけ	男性に対する声かけを実施する（特に男性）
男性の高齢者に対する声かけを実施する	回覧板で定期的に地域の情報を伝える
高齢の男性を参加させるイベントを考える	高齢者が集まって健康体操を行う
自治会組織の強化	週を決めて安い値段で食事会をする
若者の非協力をなんとか協力的に	
福祉委員会に極力加入して頂き、高齢者訪問を積極的に	
自治会の集会には女性の出席よりも男性の出席を求める	
地域自治会役員は福祉委員会に加入して頂くよう加入してもらう	
自治会内の任意団体は個々に活動しているが、代表者が集合して横の連携を図る	

男性高齢者に対しなかば強制的に訪問勧誘する位にしないと、なかなか加入して頂けない	
高齢者に積極的にサロンに参加するよう呼び掛ける	
高齢者に今不便に思ってることをアンケートに	
向こう三軒両隣とコミュニケーションを増やす	
行政にお願いすること	
行政関係主催の行事に積極的に参加する	
行政機関が積極的に自治会介入をしようとする	
印刷物を各自治会に配布し、地域が積極的に各戸訪問する	
その他の機関・団体にお願いすること	
買い物バスを運行してもらう	男女交流会を実施する
諸行事や情報を放送する	移動販売をしてほしい
巡回バスの告知を頻繁にする	団体と自治会のパイプを風通し良く
社協からの出張講座を随時行い風通しを行う	

佐野台・地域の暮らしを話す会

日時：平成 27 年２月８日（日）　10 時 00 分～11 時 30 分
場所：佐野台集会所
参加人数：19 人（佐野台 13、東佐野台 5、南泉が丘 1）

佐野台支部 A　人の集まれる場所づくり（集会所以外）

個人で取り組むこと	
人と人のあいさつ	日頃からの近所づきあい
声かけ運動	笑顔で皆さんに接していきます
目的を持つ	常に意識を持って生活する
地域の幸せを願っていける自分になること	いこいのカフェをもっと利用してほしい
コーヒー・お茶を友と飲む場所	花だんを作り、いこいの場所
決まった時間にラジオ体操wする	
地域で取り組むこと	
高齢者のタムロする場所	子どもの居場所
大人も子ども達も皆集まれる場所	アンテナ基地
ふれあい会館建設住宅の中心点にアズマヤ建設する	
団地の中で空家を利用し、身近な団らんの場があれば	
家の中に引きこもっている高齢者を外で出てもらうことを考える	
ゲートボールの出来るグラウンド	相談できる場所
青空市場	
行政にお願いすること	
町内の空スペースに椅子等を置いてほしい	分からない事は話を聞く
100 年の体制を持って福祉計画を立てよ	地域の現状を見るべし
その他の機関・団体にお願いすること	
集まりやすい場所が現在なし	遊歩道を長く作る
有料でも良いので、駐車場を作って（貸してほしい	

佐野台支部 B　地域のコミュニティー

個人で取り組むこと	
あいさつの徹底	あいさつ、声かけをする
声をかける、住民に感謝	個人での送迎車（バス）
世間話、近況確認等、１つ１つ話をする	

地域で取り組むこと	
みんなでイベントを作る	誰でも参加できるイベント
町会杯カラオケ大会（全世帯）	趣味の同好会を作る
いろいろなサークルを作る	花壇
畑借りる・野菜作り	高齢者が雑談できる場所
住宅の空スペースに６人位の椅子・日よけを作る	
街をきれいに	青年団
若者層の活動を勧める	広報力の強化
行政にお願いすること	
花見ができるように桜の植樹	公園がほしい
小体育館がほしい	空家利用（１泊貸）
空家を「住民の憩いの場」として開放してもらう	
若年世帯の入居を増やす	府営住宅に大学生を入居させる
蛍光灯の LED 化	
その他の機関・団体にお願いすること	

東佐野台・南泉が丘支部　地域活動の担い手をどのように確保するか

個人で取り組むこと	
現在の協力員の皆さんに声をかけてもらう	
各自・ボランティア精神を持ってもらう為、努力する	
多くの人に声かけする	
地域で取り組むこと	
募集案内をする（内容周知）	活動内容を具体的に提示する
民生児童委員会・長生会・福祉委員会・子ども会	
町会をはじめとする団体の必要性とそれに関わる人の精神的肉体的負担を考えてもらう	
依頼できそうな人を推薦して、役員を主に何人かで何回も頼みに行く	
隣近所の人つき合いを大切にする	
行政にお願いすること	
市・社協・町会が何度も啓蒙運動をする	
福祉委員会の位置づけを明確にしてもらう	
その他の機関・団体にお願いすること	
社協の福祉活動を地域住民に知ってもらう	委員会をまとめる人が見つからない
他の町会の活動の様子等を広報してもらう（社協に対して）	
地域への活動補助金を充分に	

北中地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成２７年２月２７日（金）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：鶴原町会館
参加人数：25 人（鶴原 12、下瓦屋 8、中央住宅 5）

鶴原町支部１　ゴミの問題

個人で取り組むこと	
ゴミを出来るだけ出さない	目についたゴミは放置しない
家のぐるりの草ひき	
地域で取り組むこと	
公園のゴミが多い	ボランティア用ゴミ袋を知ってもらう
空き缶、タバコの吸い殻ポイ捨ての禁止	
駅の近くは傘、ペットボトル、缶のゴミが多くみられる	
行政にお願いすること	
警察のパトロールを増やしてほしい	臨海線沿いの不法投棄が多い
各工場回りの清掃が悪い	
集合住宅、マンションのゴミ置き場が汚いところが多い	
その他の機関・団体にお願いすること	
高齢者のスーパーが無くなった	自転車のマナーが悪い

鶴原町支部２　明るい町

個人で取り組むこと	
犬の散歩の時間を子供の登下校時にあわす	あいさつをする、声掛け
ゴミのポイ捨てをしない、気が付けば拾う	悪い子供には注意するようにする
近所つきあい	
地域で取り組むこと	
ゴミ捨て禁止の看板をたてる	車は駐車場に入れよう
駐車場に街燈を付けよう	不審者情報を通知してほしい
行政にお願いすること	
子育て支援の充実	中高生が勉強する場所
スーパーがほしいです	道のでこぼこをなくそう
ゴミ袋が高い安くしてほしい	駅の階段をなくしてほしい
駅近くにコンビニ、売店ほしい	
駅前の道路にスクールゾーンを作ってほしい	

その他の機関・団体にお願いすること	
皮膚科、眼科近くにほしい	子供が集える場所、遊べる場所
若いボランティアを増やそう	子供会、育成会の活動を増やす
事業主は、自分の会社の周りは美しくしましょう	

下瓦屋町支部　安全な町づくり

個人で取り組むこと	
不審者に気を付ける	セールスが廻って来たら近所に知らせる
隣近所仲良くする	あいさつをする
自分がまず関心をもち注意する	～しながら観察する
消火器の設置	寝る前の火の始末
外出の戸締り	各戸夜間照明を灯す
顔の知らない人にはどちらをお探しですか？と声掛けをする	
地域で取り組むこと	
町内をきれいに掃除する	暇があれば町内を歩く（歩好会）
町内会の横の繋がりを強くする	町内会議で話し合いの場をもつ事
放送設備の活用	絆は人々の会話から
子供が安心して遊べる場所を作る	掲示板の活用
行政にお願いすること	
予算を地域へ配分する	自転車のマナーが悪い
防犯カメラの設置	パトロールをする
学校、子供、生徒への指導強化	消火栓の充実
空き家の見廻り	
その他の機関・団体にお願いすること	
空き家の見廻り	各種団体の連携強化
レクリエーションを行う	他の町の良い取り組みを知らせる
井原里交番を有効活用する。留守番時の使い方	
ミニ集会を開いて社協の方に PR していただく	

中央住宅支部　住民同士のつながりのある町づくり

個人で取り組むこと	
町内会の事に無関心すぎる	あいさつをする、声掛け
人の集まる所には出かけて行くようにする	引き込まらないよう外に出よう
小さな子供にも笑顔で話しかける	集会に参加する時に声をかける
コミュニケーションを密にする	顔を見てあいさつをする

地域で取り組むこと	
小さなグループの輪を広げる	挨拶をする
催し物に声をかけあい、参加する	歩け歩け運動
地域でラジオ体に取り組む	子供と長生会の親交
気楽に立ち寄れる場所を設ける	
行政にお願いすること	
駐車場が少ない	住宅の入り口が暗いので明かりがほしい
子供が遊べる公園がほしい	ゴミ袋を安くしてほしい
その他の機関・団体にお願いすること	
レクリエーション資材の種類を多くしてほしい	

三小地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 27 年 2 月 15 日（日）　10 時 00 分～11 時 30 分
場所：春日町会館
参加人数：32 人（新町 11 人・旭町 11 人・春日町 10 人）

新町支部　災害時対応

個人で取り組むこと	
情報をすばやく入手する	飲み水保存食ストック
隣近所のコミュニケーション	消火器点検
携帯ガスコンロ用意する	安否被害等の確認
消火器の常備	家族相互連絡方法確認
持ち出し品の整理	非常持ち出しの整理
近隣の声掛け	
地域で取り組むこと	
連絡手段の確立	情報交換
防災訓練	井戸のある家庭を知っておく
声掛け合い共助	ご近所との交流など（声掛け）
避難場所への道しるべ	簡易トイレ
通路の確保	避難ルート定期的に歩く
行政にお願いすること	
情報公開・連絡無線	円田川排水路確保
備蓄倉庫の早期設備	道路の補修
廃屋への取り組み対応	不安全空き家対策
古い空き家の対応を	自家発電機の備出
津波対策	避難所の管理
その他の機関・団体にお願いすること	
天寿と第三小学校解錠	道路の設備
湊町との交流	避難所（ディセンター）
火災防止のために古い空き家の撤去	消火栓が使えるのか

旭町　住民同士のつながりのある健康な町づくり

個人で取り組むこと	
目標に対して努力	公道などでゴミひろいを心がける
積極的に自分からあいさつをする	

地域で取り組むこと	
ラジオ体操・ウォーキング	会館をもっと活用できるよう
週 1～2 回会館の開放。自由に出入りできる	提示版の利用
協力員の活用	
行政にお願いすること	
保健センターの出張依頼	減塩料理の指導
ヨガや体操等あまり費用がかからない団体を作って欲しい	
その他の機関・団体にお願いすること	
ゴミの収集時間がまちまちで困る	ゴミだしルールの取り決め

春日町　空き家・空き地を活用し若い世代が住めるようにする

個人で取り組むこと	
ごみの投げ捨てが多い（公園内）	自分で持ち帰ること
空き地にゴミ捨てしないように	空き家が多くなると動物が多くなる
近所づきあいを近密にする	
地域で取り組むこと	
環境美化を心がけてゴミを捨てにくい環境にする	
空地をきれいにする為花とか野菜を植えて活性化する	
古い家を利用して皆が集まれる場所にする。カフェとか	
空き家の周辺が汚い	若い人が多くなると町会も努力
子育て支援。地域のつながり、お年寄りのつながり	
草は生えないように管理して欲しい	この町は住みやすいＰＲする
行政にお願いすること	
危険家屋を発見し行政に連絡する	各町会に補助金を増やすように
道路幅を広く自動車に通れるようにする	リフォームの補助金出してほしい
空き家を区画整理	泉佐野駅から大きい道路を早く
子育てしやすい環境。保育所も多く作ってほしい	
固定資産税の減免にしてほしい（空地）	
その他の機関・団体にお願いすること	
若い世代に交通の利便性をアピールする	古い家は危険がいっぱい。こわしてほしい
古家を利用して（リフォーム）若い人が住んでほしい	
持ち主さんを明らかにわかるように	

新町・旭町　住民同士のつながりのある町

個人で取り組むこと	
門灯を各家でつけて欲しい	近所の付き合い
声掛け・あいさつ	合う人ごとに挨拶
自ら進んで挨拶する	誰にでも挨拶
近所の高齢者の近況をたずねる	知り合いの人を増やす
地域で取り組むこと	
高齢者に名前を言って声をかける	一人暮らしの方への声掛け
集いの場を多くする	いきいきサロンへの参加者を増やす
子育てサロンの充実	近くに小さくてもお店が欲しい
町会館で喫茶店を開催する	町会館でオレンジカフェ開催
防災訓練は時間をもっと短くして欲しい	
引っ越ししてきた人が孤立しない様に町内会で気配り	
行政にお願いすること	
社協に対する補助金を増やし、各町会への補助金増を願う	
補助金を増やして欲しい	ボランティア保険の補助金欲しい
その他の機関・団体にお願いすること	
子育てサロンへの支援の強化	ボランティアの大きな負担にならないように

春日町・新町　高齢者に優しい街づくり

人で取り組むこと	
この町でおりたいと思わすこと。親切に	高齢者と出会ったら必ず声を掛ける
高齢者へのあいさつは必ずすること	挨拶の交わす町・地域
道で会ったら声をかける。	荷物を持ってあげる
地域で取り組むこと	
集会所等での茶話会を開催する	数人が集まって話の出来る場所が欲しい
希望する人たちでラジオ体操する	近所の交流声掛け
会館等に集まる回数を増やす	定期的に見廻り
ボランティア人数を増やす	３町でより一層の協力体制
見守り回数の増大（福祉委員会）	高齢者もﾎﾞﾗﾝﾃｨｱに参加してもらう
町内を綺麗にする	若い人達も住めるような町
行政にお願いすること	
マニュアル通りでなく対応して欲しい（ケースバイケース）	
防犯灯の拡充	地域（町会館など）での定期的な健康診断

各町への訪問診療の実施	近くに医療機関が欲しい
在宅介護に対応してくれる医師の確保	福祉委員会等に対する支援拡大
市で担うべき仕事を社協へおろすな	高齢者対策の予算をおしむな
その他の機関・団体にお願いすること	
ボランティアに頼りすぎ	町内で何でも買えるお店が欲しい
地域の電気屋と契約し電球の交換を	空き家が多いので心配
名札を付けてもらう	高齢者の出来ることは高齢者に
認知症対策。おしゃれな名札（迷い者用）	

末広地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成２７年２月２０日（金）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：東羽倉崎南町集会所
参加人数：33 人（東羽倉崎南町８、東羽倉崎町 1、長滝第一住宅２、新安松６
東羽倉崎自治会 9、羽倉崎上町７）

東羽倉崎南町支部　南町の地域の活性化について

個人で取り組むこと	
挨拶の輪をもっと大きく広げたい	声かけしていく
顔や名前を知らない人が結構いる	色々な活動をする場合協力者が少ない
不安をもった高齢者や一人暮らし高齢者に声をかけ相談相手になる	高齢者を一人にさせない。やさしく寄り添う
助け合いの気持ちを持つ	
地域で取り組むこと	
自治会の役員のなり手がいない	子どもが少なくなった
近隣の方たちは声かけ合いをしてほしい	住民の方は意見を言わない
住みやすい地域に	ゴミの出し方が悪い
優しい心を持ち、何事も自分に置き換えて行動する	花を植えよう
行政にお願いすること	
犬、猫のふんが多い	警官のパトロール
住宅へ若い人を入居させてほしい	南町は民生委員がいない
階段のエレベーター設置	高齢者の入居がおおいので考えてほしい
安否確認の時に高齢者宅の合鍵の事を考えて欲しい	
その他の機関・団体にお願いすること	
地域包括には大変おせわになっています	

長滝第一住宅、東羽倉崎支部　ペットの飼い主のマナー

個人で取り組むこと	
フンの後始末をする	リードなしの散歩は困る
犬の飼い主はフンだけではなく尿の処理も。（例えばﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙに水を入れて持ち歩く）	
地域で取り組むこと	
餌付けをしない	住民同士での話し合い
犬、猫のフンが多い（匂いが気になる）	

行政にお願いすること	
看板を立てて欲しい	行政がペットの飼い主にマナーを守るよう強く発してほしい
市で野良猫狩りをしてほしい	
その他の機関・団体にお願いすること	
野良猫の去勢手術	

新安松支部

住民同士のつながり

個人で取り組むこと	
助け合いの気持ちをもつ	各個人同士の気配りを
町活動に誘う	高齢者への声かけ
子どもの見守り	挨拶、おしゃべり
団体活動にお互い参加する	
地域で取り組むこと	
出来るだけ団体で参加できるような事業を企画、実行する	講師を頼んで健康体操などを開催してほしい
高齢者の訪問	町活動の PR をおこなう
回覧板等広報活動	他人の気持ちも充分に考えた行動をする
町、役員の積極的参加の促進	ラジオ体操をおこなう
防災、防犯の教育	町会館を社交サロンに
防犯、防災の組織の明確化	ルール、マナーを守る町へ
行政にお願いすること	
地域の人たちが参加できる行事を増やして欲しい	皆の憩いの場、公園を気持ちよく使えるように
道路のでこぼこ、修理で安心歩行	警察の定期パトロールの実施
公共施設の開放（公園、体育館）	高齢者から、子どもまで交流の場作り
その他の機関・団体にお願いすること	
校区の交流会	他町同士の交流会開催
小さな子供を持つお母さんが困った時に頼める場所がほしい	困りごと相談の充実

東羽倉崎自治会支部

困りごと

個人で取り組むこと
引っ越してきた人の名前がわからない　→　表札をかけて欲しい
人とのつながりが薄い　→　会議、集まりなど近所の方に声かけ
自転車のマナーが悪い　→　ルールを守る講習をしてほしい

NFB が落ちる器具を付けて火災を防ぐ	エレベーターのペットのにおいが気になる
地域で取り組むこと	
回覧板で野焼きの禁止の注意文を回す	
年配者が多いので災害時が心配　→　災害訓練に参加してもらう	
行政にお願いすること	
駅までの道が暗い　→　街灯の増設 LED 電球へ替える	
行政に陳情する	登校の道に溝が多く危険が多い
病気になった時困る　→　介護保険が使えるように	
来客用の駐車場が団地にない　→　駐車場の開放してほしい	
和歌山のような事件が起こらないように、見守りの厳守と常に帽子をかぶり子供に安心を	
集会所がせまい→陳情をする	
その他の機関・団体にお願いすること	
子どもの遊び場がない　→　駐車場で遊んでいる	
国を大切に。まず日本の国旗を上げることが必要と思います	
高齢者が多い　→　空室に若い人を入居させる	
地震対策ができていない　→　震度５くらいでブレーカーが落ちるように	

羽倉崎上町支部　住民同士のつながりを増やすためにはどうすればよいか

個人で取り組むこと	
あいさつをしよう	隣の家と仲よく付き合う
地域で取り組むこと	
防犯、防災の取り組みができていない	町会、福祉委員会、長生会の交流
町民みんなと付き合える行事に取り組む	美化運動の実施
ラジオ体操	カラオケ大会
行政にお願いすること	
粗大ゴミの回収日を増やして欲しい	自転車、歩行者のマナーが悪い
町会加入率が悪い	
その他の機関・団体にお願いすること	
末広６町の運動会の開催	

一小地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 27 年 2 月 19 日（木）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：元町会館
参加人数：37 人（笠松町 5、西本町 5、野出町 6、元町 6、本町 6、松原町 4、
羽倉崎 5）

笠松町支部　安全な町づくり

個人で取り組むこと	
危険な所があれば役員に連絡	常に五感を働かせる
危険と思われる事項がないか気配りする	近隣の声かけあいさつ
各戸の門前を明るくする	近所の美化にとりくむ
自宅周辺のゴミや側溝などの美化	
地域で取り組むこと	
側構などの土砂の清掃	地域の子供たちにあいさつをする
住民の安全についての意識向上をする	ペットのマナー
無断駐車をしない	老人の楽しくしゃべれる場所づくり
開発時に業者に防犯灯の設置をお願いする	情報の共有、組織間の連携を密にする
世代間交流の活発化	町会への参加を呼び掛ける
若い人の意見を通りやすくする	
行政にお願いすること	
交番が遠い	住宅開発時には現状の危険な場所を安全に
地域の安全に関する研修等指導	子供の遊べる場所
街灯の整備、設置増	通学路の安全対策
その他の機関・団体にお願いすること	
健康についての指導	

西本町支部　高齢者が住みやすい安全で安心できる町にする為

個人で取り組むこと	
あいさつと声かけ	定期的に訪問
自分の思いを出来る事を手助けして心がける	健康に気をつける
希望を持つこと	仕事を持つこと
地域で取り組むこと	
憩いの場を作る	地域（町会）を応援しよう
町会の活動を活発化する	集える場所

行政にお願いすること	
高齢者に補助金	道路をよくする
大家族化を推進する	三世帯住民に補助金を
その他の機関・団体にお願いすること	
ボランティアやお金を作る	ボランティアさんを増やす
町会主催の集い	防災の際リヤカーが必要

野出町支部 こんな町にしたい

個人で取り組むこと	
ゴミを少なくボイ捨てしない	町内の１日１個のゴミを拾いたい
美しい町清掃が行き届いた町	
地域で取り組むこと	
町内会での全体でカラオケ大会をする	空き家をなくしたい
住民参加の美化運動	若い人が住みついてほしい
子どもを犯罪から守る	ペットの糞が見られないような町づくり
イベント、祭礼、さわやか交流会等、町内が一丸となって盛り上げる	
世代間の交流、子供会、青年団、長生会等（合同で祭礼に参加しない人）	
行政にお願いすること	
犯罪のない安全な町	税金を少し下げてほしい
ペットのリールをきちんとすること	空き家の整備
高齢者を招いて行事をするのに予算がない	税金でビルを建てないでほしい
道路、溝の整備	
子供が安心して通学ができるように不審者等が出没しないような環境作り	
その他の機関・団体にお願いすること	
電柱の修理	
一小校区のみなさんに夏祭りをもっと見に来てほしい	

元町支部 町内の絆

個人で取り組むこと	
人との話す機会が少なくなってきた	子供が外で遊ばないので声がしない
隣り近所の方と話す機会を作る	
児童の下校時に合わせて、時間の空いた大人が散歩する、児童とふれあう	
地域で取り組むこと	
各種団体の集まりが少ない	ふれあいサロンをつくりたい
防災訓練をしたい	高齢者の見回り強化

町内全員のお食事会をしたい	町内会で運動会をしたい
町内会全体で日帰りの旅行をする	
町全体でラジオ体操をし、顔合わせの機会を多くする	
行政にお願いすること	
活動する時には、補助金を多く出してほしい	
活動するときには、行政の助けがほしい、高齢化のため長続きしないので	
町内の行事への参加者を多くする為、有線放送の設置を希望します	
その他の機関・団体にお願いすること	
防災に関する看板の設置	

本町支部　安全、安心に暮らせる町

個人で取り組むこと	
家庭で避難場所の話し合い	近所との声かけ
となり近所の助け合い	となり近所とのつながりを大切に
地域で取り組むこと	
いざの時準備	防災組織の設立
集まる事のできる行事、交流会等取り組み	名簿がほしい（自立避難が出来ない人）
若者の参加できる行事を増やす	会館の整備段差をなくす
一人暮らしの方の見守り挨拶	
各団体の交流（福祉、長生会、子供会、合同行事）	
行政にお願いすること	
道路の整備	下水道の整備
各町に警報サイレンの設置してほしい	消防車、救急車が通れるように
放送マイクの設置	行政と連携
自動警報装置要望書提出済み	街灯を増やして欲しい
その他の機関・団体にお願いすること	
災害に対する明確なマニュアル手順の回覧	緊急車両が入れるようにしてほしい

松原町支部　住み良い街にする為に

個人で取り組むこと	
隣りへの声かけ	放置自転車は、早急に通報する
目にみえるゴミは拾う	挨拶運動をする
町の清掃を心がける	
地域で取り組むこと	
今回出た課題を町会役員会議で取り組む	ゴミだしの分別を間違わないように

近所とのお付き合いをよくして行く	ボランティアに協力性を持ってもらう
会館の有効利用	町会に入ってもらう
おせっかいおじいちゃん、おばあちゃんを作る	
行政にお願いすること	
行政関係主催の行事に積極的に参加する	
行政機関が積極的に自治会介入をしようとする	
印刷物を各自治会に配布し、地域が積極的に各戸訪問する	
その他の機関・団体にお願いすること	
買い物バスを運行してもらう	男女交流会を実施する
諸行事や情報を放送する	移動販売をしてほしい
巡回バスの告知を頻繁にする	団体と自治会のパイプを風通し良く

羽倉崎町支部　住み良い街にする為に

個人で取り組むこと	
隣りへの声かけ	放置自転車は、早急に通報する
目にみえるゴミは拾う	挨拶運動をする
町の清掃を心がける	
地域で取り組むこと	
今回出た課題を町会役員会議で取り組む	ゴミだしの分別を間違わないように
近所とのお付き合いをよくして行く	ボランティアに協力性を持ってもらう
会館の有効利用	町会に入ってもらう
おせっかいおじいちゃん、おばあちゃんを作る	
行政にお願いすること	
行政関係主催の行事に積極的に参加する	
行政機関が積極的に自治会介入をしようとする	
印刷物を各自治会に配布し、地域が積極的に各戸訪問する	
その他の機関・団体にお願いすること	
買い物バスを運行してもらう	男女交流会を実施する
諸行事や情報を放送する	移動販売をしてほしい
巡回バスの告知を頻繁にする	団体と自治会のパイプを風通し良く

長滝地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成２７年２月４日（水）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：長滝第Ⅰ町会館
参加人数：46 人（中ノ番 11、東ノ番 14、西ノ番 15、長滝住宅６）

中ノ番支部１　地域活動の担い手不足

個人で取り組むこと	
積極的に各種団体活動に参加する	他人任せでなく、自分の事とする
活動内容のスキルアップ	声かけを多くする
同年代で仲良くする	
地域で取り組むこと	
各団体のつながりをもつ事	近所の家族構成をつかむ事、防災等に役立つ
町内会加入者の推進	
同じような人でなく種々の人が参加できるようにしたい	
主が高齢者が多いので、出来るだけ若い人が主になるような仕組み作り	
各番が市への積極的参加と活動内容の把握及び問題点のピックアップとそれに対する改善	
町内のイベントについて各自意義を町内会員に説明し、理解を促す。	
行政にお願いすること	
ボランティア活動の助成金を増やす	若者の地域就職活動の推進
市報を利用するイベント内容を記載	市の細かい要望でなく大きな指針を
町内会加入の推進	
その他の機関・団体にお願いすること	
各種団体での連絡会を密に行う	町内会が推進リーダーになってほしい
自分達がやっている活動の PR	

中ノ番支部２　地域の困りごと、いいところ

地域の困りごと	
犬のフンなどのマナー	子供の数が少ない
家の前にもポイ捨てされる	店が少ない
下水がない	道が狭い
元気がない	夜暗い道が多い
青年団が少ない	地元に雇用、産業が少ない
空き家が増えてきているので不審者などが入り込んでいないか行政に注意喚起する	
少し顔見知りになると、親密になるが、とっつきが悪い	

昼に人がいないので、なるべく散歩するを多くする	
交通基本ルールを守ろう！特に他所から来た人	
いいところ	
青年団がある	出会った人とあいさつをする
人とのつながりがある	井戸水がある
坂がない（高齢者が楽）	消防団がある
地域、町会を中心に交流の場がある	災害が少ない

東ノ番支部１ 災害時の助け合い

個人で取り組むこと	
災害時に自宅付近の安否確認をする	隣近所の助け合い
地域で取り組むこと	
隣組未加入の人の救助法	ハザードマップの作成
町内会に入会してもらう	災害時の連絡網の整備
行政にお願いすること	
町内会との情報共有	一人暮らしの高齢者の見守り
個人情報管理との兼合い	
その他の機関・団体にお願いすること	
隣組単位での協力	
町内では出来ないことは自衛隊やボランティアにお願いする	

東ノ番支部２ 地域の交流

個人で取り組むこと	
あいさつをする	
地域で取り組むこと	
高齢者と若者の交流を深める行事	今年はまくら祭りにみんなで協力する
気軽に参加できるイベントを作る	各種団体一同に集える行事の開催
町内会全体で行える行事の充実（夕涼み会、もちつき大会等）	
祭礼に際し各種団体が一カ所に集まれる場所をつくる。祭りのやりかたを工夫する。	
行政にお願いすること	
場所の確保	財政的に補助を増やしてほしい
その他の機関・団体にお願いすること	
一同の会する行事を考える	

西の番支部１　各種団体の維持、今後の活動募集

個人で取り組むこと	
楽しい事を伝える	会合に参加
普段からの声かけ	同級生、同学年の勧誘
地域で取り組むこと	
入会しない理由の聞き取り調査	役員の負担の軽減
リーダーシップ者を選ぶ	対象年齢の拡大（子供会）
上部団体からのお誘い	同年代の個人情報収集
イベントを開く	若い協力員さんを増やす
若い人が中心になって進む	犬の糞のマナー
イメージアップ悪を排除して、加入しやすくする	
入会内容の説明（メリット、デメリット）をし参加してもらう日を決める。	
行政にお願いすること	
活動内容の広報	募集活動の補助と指導
活動費の補助（市、消防、民生委員）	催事に対しての補助
ゴミの指定場所に他地域から捨てに来るので指導してほしい	
スタンドプレーよりもっと大切な事に目を向けてほしい	
町内会とエリアと校区の不一致があるので、学校区の割り方を考えてほしい	
その他の機関・団体にお願いすること	
名簿の共有更新	小中学校との交流
各種団体が集合できる場を作ってもらう	

西の番支部２　災害時の対応、地震など

個人で取り組むこと	
すぐ近隣に連絡する	家族で集合場所を決めておく
二次災害火事等火元に気をつける	近隣住民の把握
避難場所を決めておく	話し合い
近隣で助け合う	家族の安否
地域で取り組むこと	
町全体での防災訓練の実施	避難場所を決めておく
高齢者のひとり暮らしの安否確認	話し合い
各地域で毛布や災害食の備蓄	安否確認できるようにする
役割分担を事前に決めておく	町、単位で対策場所を決めておく
行政にお願いすること	
災害時の備蓄	充分な配給

ハザードマップ、避難場所	簡易トイレの用意
給水車、発電者	防災無線等、情報の伝達
行政との話し合い	
その他の機関・団体にお願いすること	
話し合い	けが人の対応（病院、警察）

長滝住宅支部 マナー

個人で取り組むこと	
あいさつをする	違法駐車
個々に気をつけてもらう	
地域で取り組むこと	
月に一回ボランティアで清掃活動	長滝住宅が一体となる
深夜のバイクのふかし音	タバコのポイ捨て
ゴミのマナーが悪い	地域活動に参加する人が無い
若い人が少なくて協力しない	深夜の若者のしゃべり声
公園で遅くまで遊んでる	
行政にお願いすること	
粗大ゴミの収容代を安くしてほしい	指定のゴミ袋を安くしてほしい
ポイ捨ての罰金制を使ってもらう	
ボランティアで集めたゴミは持っていってもらう	
その他の機関・団体にお願いすること	
高齢者が多いので災害時の対応	自治会費を集めるのに協力してもらう
ＰＯＰを使ってもらい貼りだし	高齢者が多いので住宅内にポスト設置

上之郷地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 26 年 12 月 18 日（木）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：上之郷小学校（多目的室）
参加人数：20 人（母山 2、上村 2、中村 1、下村 5、机場 2、女形 3
郷田 1、学校関係４）

下村・郷田・机場支部　新興住宅とこれまでからある住宅との交流不足

個人で取り組むこと	
顔を合わせば挨拶をする	趣味を通じての繋がり作り
地域で取り組むこと	
機会ごとに町会加入を斡旋する	川掃除の時に道具（一輪車等）の貸し出し
地域での催し事に参加してもらう（祭・盆）	町会に入ったらメリットがあると示す
町会加入しやすく工夫する	趣味に合わせたイベントの開催
防災に力をいれて若い人を取り込む	総会で町内会の規定を緩和する
防災用品の共有ができる	
行政にお願いすること	
町会加入を強く呼びかけてもらう	
その他の機関・団体にお願いすること	
子供会、長生会等にも町会に入ってもらう	
開発業者に町会加入を義務付ける（新規購入者に）	

女形・母山支部　交通の便（買物・病院等）

個人で取り組むこと	
実際困っている人から話を聞く	
地域で取り組むこと	
実際困っている人から話を聞く（共通）	人が集まる場所を作る
集会所等で販売の中継が出来たら（パンフレット等）	
ネットで買い物するのを教えてもらえる場所作り	
行政にお願いすること	
コミュニティバスがもっと便利になってほしい（手をあげたら止まってくれる・ジャンボタクシーくらいのサイズの車で細かいところを回って欲しい）	
近くの病院に代わるようなシステムがあれば（専門的に分化していてスムーズではない）	
不法投棄厳罰化	

その他の機関・団体にお願いすること
スーパーが送迎をしてくれるようになれば（食料品だけではなく衣料品なども自分で）

上村・中村支部　ゴミ捨てなどが多くマナーが悪い

個人で取り組むこと	
貼り紙をする	自分の家の前を綺麗にする
決められた場所へ捨てる（他所に捨てない）	町会及び市へ報告する
ゴミの分別を徹底する	決められた曜日に出す
気が付いたらすぐに行動する	車運転手のマナーの向上（ポイ捨て禁止）
地域で取り組むこと	
掃除ボランティア	週に一度収集に回る
町内一斉掃除	ゴミマナー向上の啓発
自販機などに空き缶の始末の貼り紙	子供会のゴミ拾い体験
パトロール活動	店前には大きなゴミ箱を置いてもらう
行政にお願いすること	
調査隊を作る	罰金制度
防犯カメラ設置	パトロール制
掃除業者を強化する	川が汚いので掃除体制
カラス退治	立て看板をもっと設置する
掃除時の資材、消耗品は行政が負担する	スラム街化しないよう空き家対策
その他の機関・団体にお願いすること	
小学校環境教育（ゴミを捨てないための指導・校内ゴミ・町内ゴミ拾い	
学校でのマナー教育	公共場を掃除する
郊外学習など子供たちが通学路を通りながらゴミ拾い	
ボランティア運営委員会と一緒に活動	中学校のボランティア部との協働
ＰＴＡで話し合い	
学校のボランティア掃除の時に一般人も参加出来るような仕組み作り	

大土地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成２７年１月３１日（土）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：土丸町会館
参加人数：４０人（大木２４人、土丸 16 人）

チーム若手（この中では）　若い人が住みやすい町をつくるには

個人で取り組むこと	
若い者は消防団に入れ	若い者　青年団　入る
子どもの同級生がいない（地元の友達ができない）	
地域で取り組むこと	
活性化をはかる	喫茶店を作る
店・コンビニの設置	空き家の利用
大木ブランドをつくる	大木をもっと PR
神社の PR	自然を生かした観光産業
祭り、盆踊り等のさらなるもりあげ	各団体の交流
町内会費等引下げ	
大木で住むメリットがあまりない	つきあぎが多すぎる
住みたくない	ご近所の目を気にして生活しなくてはならない
行事を減らす	役職の兼任をなくす
行政にお願いすること	
調整区域をはずせ	固定資産税　減免
道路を広げる	田畑をなくし住宅地を作る
保育所がない	こども園をつくる
交通機関の見直し（運賃高い＆本数）	駅前駐車場の無料利用
その他の機関・団体にお願いすること	
大木・土丸の交流	近くに働く所をもうける
ガソリンスタンドをつくる	

おばちゃんパワーズ　高齢化・若者の減少

個人で取り組むこと	
声かけ	声をかける（あいさつ等）
相談にのってあげる	コミュニケーション
若者の意見をよく聞く	昔からの風習を変えてゆく

地域で取り組むこと	
コンビニを作る（喫茶店）	特色ある物づくり
高齢者の集まる所を作る	空地の活用、地主さんと交渉し、他所から入りやすく
カラオケボックスをつくる	
整体・毎週木曜日に来てくれている	移動スーパーが来てくれるようになった
もっと色々と幅を広げていく	
行政にお願いすること	
総合病院までの無料バス	気軽に立ち寄れるコンビニ etc が欲しい
村で働くところがない	いのしし対策
町ばかりでなく公民館を作ってほしい	
その他の機関・団体にお願いすること	
バス代補助の年齢引き下げ	最終バスの延長
バスの回数を増やす	夜道を明るくしてほしい

極楽チーム

若者（子供）が増える町づくりをする

個人で取り組むこと	
出て行った方たちに帰ってきてもらう	２世代・３世代家庭を増やす
地域で取り組むこと	
古民家を利用して安価で提供	地域の交流を図る
会館の利用方法	児童公園の改良・改善
盆踊りの再開	古い習慣にとらわれない
行政にお願いすること	
調整区域をなくす	調整区域の変更
宅地の増加	コミュニティバスの運行をしてもらう
教育費・給食代無料化する	赤ちゃんに補助金を出す
スポーツ施設を作る	専門学校などを作る
その他の機関・団体にお願いすること	
近くで仕事が出来る所を増やす	仕事場少ない
若い主婦の職場を増やす	

チーム・コンビニ（がほしい！）

大木にコンビニを！

個人で取り組むこと	
大木であるものも出店する	地産・地消の農産物の販売
一日一人一食買う	
地域で取り組むこと	
町内会の土地の利用	用地のプラン提供
町内が一番に利用する	地元の人も PR 運動する
アルバイト、手伝い協力	住民の協力で運営
特色のあるコンビニ	弁当宅配
地域利用券、ポイントカード	
行政にお願いすること	
市民に商品券配布	PR・後方
税金優遇	
その他の機関・団体にお願いすること	
ガソリンスタンド併設	設備の資金
営業時間は７時～~~8 時~~10 時	専門業者の応援、シミュレーション

長坂地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 27 年３月 10 日（火）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：次世代育成地域交流センター
参加人数：30 人（新家町６人・鶴原東町４人・貝田町５人・泉ヶ丘７人
新泉ヶ丘１人・下瓦屋南町４人・鶴原北住宅３人）

泉ヶ丘支部　地域の困りごと（マナー）

個人で取り組むこと	
ノラネコにエサを与えない	自分ちのゴミをわざわざ捨てに来る
空き缶等、どこへでも捨てるのやめる	自然環境を大切にする（環境保全）
生ごみは新聞紙で包みゴミ袋に入れている	猫・カラス対策
ゴミのカバーをする	犬猫のフンを見つけたら処理する
地域で取り組むこと	
犬のフンのポスター	フンをなくす啓発ポスター
美化パトロールを強化する	ラジオ体操でお互いに顔見知りになる
近所同士で話し合う	
行政にお願いすること	
犬猫の避妊手術の補助金	ゴミの収集時間を守って欲しい
空き家の雑草が道路まではみ出てる	迷惑条例の充実・啓発ポスター設置
野良犬猫の捕獲処分	庭の木が道路に出て迷惑
実態調査	
その他の機関・団体にお願いすること	
長坂地区全体での取り組み	

貝田町　町内活動を活発にするには

個人で取り組むこと	
各種行事に参加	だんじり祭りに参加
隣組の団結に力を入れる	とりあえず参加する
ご近所さんと仲良くする	町内会の理解
友人を誘いあう	挨拶をする
地域で取り組むこと	
各取組に全員参加	町内会を魅力あるものに
防災対策委員会を作る	メニューを増やす
参加する層を増やす	各種団体活動の充実

各町と校区運動会開催	役を多くつくる
役員の負担を軽くする	財政の建て直し
地域協力金を募る	
行政にお願いすること	
補助金の増額	各種講座の開催
町会支援の手引き	会館建設の助成金
放送設備の充実（市からのお知らせ等）	
その他の機関・団体にお願いすること	
知恵出しメニュー出し人材応援	きめ細やかな交流
医療機関に健康促進のための講座開催	高齢者医療の充実
出張認知症カフェ開催	団体の得意な事業への誘導と手伝い
講習会の実施	ほっとけん長坂に有料広告協力

下瓦屋南町　地域の良いところ元気な高齢者が多い

個人で取り組むこと	
高齢者のグランドゴルフ月２回楽しみ	元気な高齢者が多く昔話を教えてくれる
子どもの見守り役	挨拶運動をすすめている
地域で取り組むこと	
まつり等の交流の場	プライバシーのない町
地域行事の主役である	若者との交流
一人暮らし高齢者の安否確認	市報配る時声掛けして話す
世代間交流の推進	グランドゴルフ月２回している
何年か前から世代を越えて挨拶をしようと言うテーマで掲示板に貼って呼びかけています。考えることをするためにいこいの家での一人暮らしの方をに、回集まりカラオケをしたり世間話をしている。祭には各地域からたくさんの人がきて役をもって頑張ってくれています。世代間の交流が多いところが良いと思っています。	
町内清掃に青年団が多く参加してくれてるのが良い	
行政にお願いすること	
高齢者の年金を減らさないで欲しい	
その他の機関・団体にお願いすること	
なし	

新家町　高齢者が安心安全に暮らすために

個人で取り組むこと	
買物を手伝う	声掛けする
見かけたら挨拶や世間話をする	遊んでいる子供たちを見守ってもらう
友愛訪問をする	近所付き合い
地域で取り組むこと	
ペットの飼い主のマナー	防災の組織作り
顔を見かけたら声を掛ける	若者との接点を作る
近所付き合い大切に	集合場所を増やす
定期的なサークル活動を企画	世代間交流
各隣組単位でコミュニケーション取れる体制作り	
行事を増やす	集合場所を増やす
ボランティアの人は子どもの学校の下校時にはもっと出てきて欲しい	
行政にお願いすること	
地域の重荷にあまりならないようにお願いしたい	
自助共助公助の比重を高める	年金が少なくなり介護保険が上がるばかり
行政がリーダーシップを取って欲しい	コミュニティバスの回数が少ない
その他の機関・団体にお願いすること	
ボランティアでタクシー代わりになるもの	社協に行く交通機関が少ない
認知症の方をどのように助けれるか	町を明るく
交通の便を良くする	福祉委員は福祉の主となって欲しい

鶴原東町・新泉ヶ丘　元気な高齢者が多い

個人で取り組むこと	
食事に気をつける	カラオケ
運動をする	おおいに笑う
集まりは参加すること	健康に気をつける
おしゃべりをする	コミュニケーションをとる
戸外へでる	
地域で取り組むこと	
行事を多く作る	挨拶や声掛けをする
集まれる場所を沢山作る	盆踊りと祭りで団結する
世代間交流	防災の充実をすること
家から出れない人をどうして外に出てもらうか	

墓地を守っている（綺麗に）	隣近所の見守り
子どもの安全見守り	高齢者の参加出来る催しの開催
行政にお願いすること	
予算を沢山出して欲しい	地域の住みやすさを考えて欲しい
介護保険の減免をして欲しい	公館庁のバリアフリー化
予算が欲しい	医療の充実
歩道を作る	坂道が多い
医療費減免	
その他の機関・団体にお願いすること	
制度の学習をして欲しい	福祉の充実
老老介護が多い（高齢者世帯が多い）	社協と地域とのつながり強化
地域の中に買物できる店が欲しい	

鶴原北住宅　若い世代の活発な活動参加

個人で取り組むこと	
積極的に呼びかける	意見を聞く
声掛けを活発にする	
地域で取り組むこと	
ラジオ体操呼びかけ	若い人と老人の接点が少ない
ペットのマナーが悪い	
行政にお願いすること	
新年度の役員に取組みを説明	
その他の機関・団体にお願いすること	
他地区の取り組みを教えて欲しい	

日根野地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 26 年 11 月 15日（土）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：日根野町会館
参加人数：４１人（東上６、久の木４、中筋３、西出４、野口２、西上６、
新道出３、野々地蔵６、俵屋５、学校関係２）

東上支部　住民同士繋がりのある町になってほしい

個人で取り組むこと	
町内会加入を呼びかける	ご近所の清掃
子育てサロンのアピールと参加呼びかけ	自分主催のイベントに子どもと親を呼ぶ
個人情報の問題もあるので、どの程度まで関わればいいか難しい？	
地域で取り組むこと	
運動会	駅伝大会
町会主催（カラオケ大会など）の開催	防災訓練を定期的にする
グランドゴルフ大会の開催	住民参加奉仕活動をする（ゴミ拾いなど）
各団体の交流を盛んにする	
行政にお願いすること	
防災訓練など住民が参加する企画する	桜公園をアピールしよう
大井関（日根神社）の駐車場（桜の季節、湯まつり）	
地域のイベントを奨励する施柵策を提言する	
マニュアルの作成をしてほしい	コスモ跡地の利用を！（バラ園をつくる）
（地域の活動を）泉佐野市のホームページで紹介	
その他の機関・団体にお願いすること	
道の駅	広大な貸農園を作ってほしい
カフェ・居酒屋を誘致してほしい	サロン等気軽に集える場所を
お年寄りと子供が一緒に集える行事を！	

久の木・野口支部　交通マナーが悪い

個人で取り組むこと	
自分から交通ルールを守る	急いで運転しない
注意する	家族での話し合い
交通基本ルールを守ろう！特に他所から来た人	

地域で取り組むこと	
交通安全活動	安全・見守り
時間のある人に現場に立ってもらう	各種団体で立番をする
安全呼びかけ	
行政にお願いすること	
ミラーの設置	警察の取り締まり
信号をつけてもらう	頻繁に泉佐野市内を回ってもらう
交差点（死亡）事故の起こる前に信号をつけてほしい	
その他の機関・団体にお願いすること	
暗い所に電灯をつける	交通安全ステッカー・看板
小中学生の通学マナーを指導する	交通安全の取り組み指導
ボランティアに期待します	

中筋支部

交通事情を良くするには

個人で取り組むこと
外灯の点灯
一人ひとりが交通ルールやマナーの向上に努める注意する
地域で取り組むこと
交通安の啓発ポスター（看板）を多く設置する
学校で子ども達に交通ルールを守ることを徹底させる
戸建て、マンションの住人との付き合い
朝登校時、車をとばす方がけっこう居るので、安全を呼びかける
ポスターなどを町会に貼る
行政にお願いすること
鐘の設置を早くしてもらう　／　速度制限標識を設置
町内をはしる道路が狭いので、スピードを落として安全運転を呼びかける（特に学校周辺）
その他の機関・団体にお願いすること
カーブミラーの増設　／　防犯灯の増設
スピード規制、看板増設

西出支部　地域の交流がない

個人で取り組むこと	
アンケート等で必要性をアピールすること	住民からのアピール
地域で取り組むこと	
町会加入を呼びかける	写真・太極拳・ヨガなどのクラブ
ゴルフ等の趣味をつくる	新聞を年４回発行
インターネットでアピール	ポスターでアピール
行政にお願いすること	
日根野公園をつくる	公民館をつくる
施設をつくる	末広公園のような公園ができる
日根野公園（仮称）で防災	日根野公園（仮称）をウォーキング
その他の機関・団体にお願いすること	
社協や教育委員会も市へ要請すること	市議会訴える

西上支部　町会加入率をアップする

個人で取り組むこと	
あいさつ運動	あいさつをみんなにする
（町会）未加入の人との人間関係を作る	自らが参加したくなる提案活動
地域で取り組むこと	
魅力ある活動をする	清掃活動を行う
ハローウィンパーティーをする	ゴルファー育成の町にする
現町会員が今の町会についてどう考えているか聞いて、改善する	
町会活動状況の継続的な案内活動	町会活動にオブザーバー参加してもらう
防災組織活動の実施	防災に関わる訓練
定期的な勧誘促進	未加入の古株住民への働きかけ
重点勧誘地域をせめる	町会加入者と隣組との関係
既存の隣組に入りやすくする	町会の役の負担を軽くする
行政からの押し付けが多く忙しいので、自主的なことがしたい	
行政にお願いすること	
町内軒数が把握できていない→加入促進	新規居住者へ町会加入を強く指導
町会加入促進補助費の支援	配布物は町会経由とする
人とのつながりを増やすため、公園の整備	市の協力による防災講演の実施
その他の機関・団体にお願いすること	
不動産業者から主体的に町会加入を促す	

新道出支部　地域住民の交流

個人で取り組むこと	
あいさつと声かけ	会館での催しに参加するよう呼びかける
近所の人と子供とには出きるだけあいさつをする	
地域で取り組むこと	
ラジオ体操をする（夏休みなど）	
楽しく集う場つくりに取り組む	太極拳で身体の老化を遅らせる
世代間交流場を考える	
パソコン教室にさわった事のない高齢者も誘う	
今後皆が参加出来るようなクラブを多く取り組む	
行政にお願いすること	
町会加入への説明等チラシの配布	助成金の充実を希望
公民館（高齢者が増えるので、近くで参加できる催しが必要）	
その他の機関・団体にお願いすること	
おたのしみ会のボランティア紹介	
高齢者が多くなってきたので、気軽に参加出来る場を作ってほしい	

野々地蔵支部　住民のつながりがある地域づくりを目指す

個人で取り組むこと	
あいさつをする	日常会話をする
朝の子供の見守りに参加して親どうしの親睦を増やす	
地域で取り組むこと	
青年団を復活させて若者に町会運営に参加させる	
町会でラジオ体操に取り組む	会館や広場でラジオ体操をする
町会未加入者が入りやすい方法を考える	住民同士で集まるイベントをする
朝のゴミ拾い（10～15 分）を計画する	町内会の行事を増やす（盆踊りなど）
町会内に公園を作って子供がもっと集まる場を作る	
町内会に入っていない人も集まれる場を作る	
町内の役が当たらなければ、隣組にみのお付き合いになる	
男性の組長的な集まりを女性のもあればいいのでは	
隣組と隣組との交流会（食事会）をする	飲み会をする
町会館利用して月１回ぐらい集まれるようにする	
日根野全体で体育祭をする	各種団体との連携（小単位・全体）
若い世代のお顔や家族構成も分からない	お葬式等も知らないで後で分かる場合も
行政からの押し付けが多く忙しいので、自主的なことがしたい	

行政にお願いすること	
放送設備（町内中に聞こえる）を設備する	
ボランティア、ボランティアと言わずに市にもっと金を出させる	
町会館へ住民への放送設備を作って連絡網を作る（市への要望）	
その他の機関・団体にお願いすること	
学校で「町会の必要性」をもっと教える（友の会の参加）	

俵屋支部 災害対策

個人で取り組むこと	
食料・飲料・水の準備	一人一人が避難場所を決めておく
防災について家族で話し合いをする	
地域で取り組むこと	
安否確認	地域防災計画の共有
町会の各家庭の家族構成を把握する	
高齢者・障害者の把握と、補助員の取り決め	
近隣住民の連絡、安否の確認システムをつくる	
行政にお願いすること	
備蓄倉庫の充実	
その他の機関・団体にお願いすること	
町会に入っていない高齢者・障害者の方に対応	

南中地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成２７年１月２１日（水）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：南部市民交流センター
参加人数：４４人（安松１４、岡本１２、樫井西９、樫井東９）

安松支部　町会加入者を増やすにはどうすればよいか

個人で取り組むこと	
町会の役員が何回も頼みに行く	町会で何か楽しい行事を考える
町会役員を無理にお願いしない	町会加入時の良いところを説明
町会は再三、再四各家庭を訪問し、町会に加入していただく様に説明する	
地域で取り組むこと	
町会だよりを作り PR	町会費の値下げ
一軒でも多く入会しやすい様に皆で考えることが大事	若い人に町会のいろいろな会議や行事に参加してもらう
定例的な説明会を開催（町会として）	町会加入のメリットをつける
新築時に勧誘する	安松は町会加入を義務とする
マンションの管理組合と協議する	
行政にお願いすること	
未加入者と加入者との差別化	防犯灯の下を歩かさない
行政から全家庭に町会加入することを連絡するようにする	
加入しない人は家の新築を認めない	開発の段階で町会加入を義務付ける
市で町会費を義務付ける	若い人が結婚できる、すすめる方法
宅連の開発事業者に許可しない	
その他の機関・団体にお願いすること	
各種団体でお願いする	子ども会も全員加入する様
各種団体が団結し町会加入をすすめるように努力する	

岡本支部　楽しく安全に暮らせるようにするには

個人で取り組むこと	
あいさつを心がける	交通ルールをまもる
子どもの見守り	町内清掃
公園、道路の清掃	個人の意識の問題
つどいに参加する	魅力、ていねいさ

地域で取り組むこと	
町内行事の充実	祭り、盆踊りへの参加者を増やす
地域でのクラブ活動に参加する	盆踊り後にカラオケをやって終了さす
独居のかたの困りごとにできるだけ答える	毎年の防災訓練実施
行事への参加人数を多くする	カラオケ等皆が参加出来やすい様に
行政にお願いすること	
街灯、防犯灯を増やす	道路整備
道路のミラー設置	町会行事の補助
高齢者に対する交通安全、交通マナー指導	防犯カメラの設置
府道（公道）でのポイ捨てを防止	健康診断の充実
警察、消防、巡回活動を増やす	犯罪の被害者にならないための方法
変質者を町に入れない	警察のパトロール強化
町内の防犯見守り	
その他の機関・団体にお願いすること	
健康に関する勉強会に講師の派遣をしてほしい	
若い方との挨拶をもっと多くできるように指導してほしい	
子どもがボールで遊んでグランドに捨てて帰る→親はもっと管理してほしい	

樫井西支部　防災について

個人で取り組むこと	
家族間の連絡先を決めておく	非常持ち出しの準備
警報が鳴ったらまず外へ出て逃げる	家具を固定する
まず自分の命は自分で守る	自身の笛を携帯する
ﾆｭｰｽをよく聞くこと	
地域で取り組むこと	
避難場所 20 棟	避難場所を決めておく
災害訓練をおこなう	井戸の地図作り
防災訓練地域でおこなう	
行政にお願いすること	
地区の基準の見出しを出す	防災訓練にかかる費用の負担
海抜の表示	警報装置 2～3か所設置してほしい
街灯を増やす	
その他の機関・団体にお願いすること	
町会に災害援助物資の確保	町民への伝達方法

樫井東支部

地区の防災について

個人で取り組むこと	
家具の固定	家族で避難場所を決める
非常時にすぐ持ち出せるよう防災グッズの用意	
持ち出しバッグ	飲料水の準備
地域で取り組むこと	
隣組単位の連絡網	近所の声かけ
災害弱者の把握	避難場所を確認する
避難場所を決めておく	防災訓練をする
水の確保（井戸の申出）	
行政にお願いすること	
マップづくり	防災マップの配布
海抜の表示（１２M）	水食料の備蓄
テント、寝袋	
その他の機関・団体にお願いすること	
防災訓練を消防署と一緒に	

中央地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 27 年3月１４日（土）　10 時 00 分～11 時 30 分
場所：中町町会館
参加人数：１６人（市場町５、葵町３、中町４、
幸町１、松風台２、日根野西町１））

市　場　町　助け合えるまちづくり

個人で取り組むこと	
登校時に「おはよう」「おかえり」の声かけ（小学生）	
一人暮らしの高齢者への気配り	隣人及び高齢者への気づかい
老夫婦で暮らしている方達のことも気配りが出来る	
地域で取り組むこと	
町会の役割を助けてあげる（一人暮らし高齢者は隣組組長が心身の負担になっている）	
今は他人には関わりたくないと言う人が多いが、まずはどんなことにも関わって下さる人づくりを	
町内の人があふれる場所、行事を提供する	行事への参加
介護している人の息ぬきが出来るイベント	町会、各種団体の加入
行政にお願いすること	
イベント等への補助金	子育てに悩む母親のつながりの場
隣近所に何かあれば、相談したり、報告したり出来る近所を作る	
個人の悩みによりそって行政もしっかり関わってほしい	
その他の機関・団体にお願いすること	
福祉施設を増やしてほしい	
隣組と地域とのつながり、（地域や皆様に伝わりやすい）枠組み作りを考える	
いち個人であっても、それ（何か悩み）を解決するためには、色々な団体が関わって解決できれば	

中町・松風台　高齢者が元気になる街づくり

個人で取り組むこと	
顔みしり以外にも全ての人にあいさつをする	
家族間で名前をよんで「おはようございます」を云う	
地域で取り組むこと	
あいさつ、冗談が言える関係に	ラジオ体操をする
趣味調査をする（同じ趣味の方達はつながりやすい）	

歩こう会をつくる（お楽しみ券を配布）	町会が行う清掃活動は月１回必ず実施を
ふれあい交流会に高齢者を出来る限り参加いただきお年寄りを元気にする	
行政にお願いすること	
公園が全くないので、行政に考えていただきたい（中町）	
行政にも足しげく通い、色々なお願いをする	市議会議員に要望
ボランティアを楽しくできる環境づくり	年金を減らすな
住民のアンケート調査	
その他の機関・団体にお願いすること	
社協から民生委員宅などへ家庭訪問	事業所が行っている清掃活動に目を向けて
中町にもあやしげな店があり、調べることはできなでしょうか？	

葵町・幸町・日根野西町

町内の高齢化について
（認知症方への対応も含めて）

個人で取り組むこと	
優しく接する	急がせない
見守る	徘徊
帰り道がわからなくなる	GPS
どこに居るか分からない	やれる範囲で何事もやってもらう
認知症の方を怒らせない	挨拶からはいる
地域で取り組むこと	
住所などを名札に書いて貼ってもらう	認知症の講座をひらく
対応の仕方を学ぶ	
行政にお願いすること	
高齢者が気がるに集まれる場所がほしい	
警察、消防	
その他の機関・団体にお願いすること	
土日でも講座して欲しい	講座をひらいてもらう
困った時の相談場所がほしい（近隣問題）	人間関係について

二小地区・地域の暮らしを話す会　実施報告

日時：平成２７年１月２９日（木）　19 時 00 分～20 時 30 分
場所：社会福祉センター
参加人数：４１人（高松６、高松北３、高松東９、高松南３、上町４、大宮５、栄町４）
全地区共通テーマ：**◎災害が起こったら不安なこと**
◎各自と地域、それぞれで備えること

高松支部

災害が起こったら不安なこと			
二小まで逃げれない	地面が割れる	間仕切り	毛布等
空連道で津波が走る	避難所	温度	
家がつぶれる	家	住居	ケガ
命	電気	食事	風呂
水	お金	１人	病院
連絡が取れない	通信	周りの状況が判らない	
各自で備えること			
着替え	電池	食糧	避難持ち出し
ラジオ	二小に引っ越し		
地域で取り組むこと			
寝袋を準備		二小にソーラー発電を	
トイレの用意			

高松北支部

災害が起こったら不安なこと	
道が狭く消防車の進入が困難	被災者のフォローができない
消火栓の位置が判らない	避難が困難
消防署の統廃合により、位置が理解できていない人がいた	非常持ち出し袋ない
	津波避難場所の認知ができていない
何処まで逃げればよいのか	津波の時は小学校の鍵があいているのかどうか
各自で備えること	
非常持ち出し袋を各自で作る	風呂水をはっておく
家族連絡のマニュアルをつくる	常備品設置しておく
各家庭１人１人に電池を用意	避難備品を用意

地域で取り組むこと	
マニュアル作成および周知、皆に連絡	地域ごとに災害マニュアルを作成
（消火栓に）駐停車をしない	(被災者のフォローについて）地域で訓練
火災訓練をしています	図上訓練をしています
消火栓の位置を町内会で把握する	

高松東支部

災害が起こったら不安なこと			
飲料水	水（トイレ、飲み水）	トイレ	食料
電気	電池	機器	
電気による火災	水害	古いブロック　たおれそう	
逃げる場所	家族の連絡		
各自で備えること			
外に出るとき裸足禁止		２～３日分の食べ物、水（自己責任）	
水、電池、燃料、発電機、ローソクの確保			
地域で取り組むこと			
備蓄品の保管場所の特定		避難場所の確認	
貴重品・防災グッズ確認		避難所（学校等）の鍵の確認	
ひとり暮らし高齢者の安否確認		PTA	
地域ごとに備蓄に努める			

高松南支部

災害が起こったら不安なこと	
近隣者は高齢者が多い。 行動を起こすのが大変	住民に年寄りが多い
住宅の耐震性	火災
今日いろいろと考えているけど災害が起きたら対処できるか	
各自で備えること	
防災グッズ	食品（保存食）の準備。保存食の貯え
飲み水	ヘルメット
懐中電灯	電池の保存
消火設備	ラジオ
◎まずは自分の身を守る	
地域で取り組むこと	
近隣との交流	日頃より近隣者との交流

高齢者の安否確認	避難経路の確保
若い子に魅力ある集まりに	若い力の連携
地域のボランティア	

上町支部

災害が起こったら不安なこと	
家族の安否	家族のことが！
どこに逃げたらいいのか	広い道が少ない。住宅がひしめいている
逃げる道がどこを通ればよいか不安	知覚で耐震構造の建物がない
火の消し方が！	火災、火の用心
家がつぶれたら！	家の崩壊
家財の倒れ	ライフライン止まる
動けなくなったとき誰に連絡したらいいか	外に出られるか
避難情報受けられるか	近隣の手助け
各自で備えること	
家族で話し合い、打ち合わせ（連絡・避難等）	食料を準備する
衣食住を備えておく	家具の倒れ防ぐ手立て
忘れずにケイタイを持って行動する	家の中でも携帯電話を離さずに
火災等危険物を注意する	家、家のまわり、道路等の清掃、片付け
地域で取り組むこと	
近所づきあい（知らない人も増えている）	地域の人の電話番号をいれておく
防災建物をしておく	防災計画だけでなく協力者のすそ野を広げる
女性に参加してもらい意見をいってもらう	子どもたちの意見をきく

栄町支部

災害が起こったら不安なこと			
地震	津波	突風	大雨
家が壊れないか	家の倒壊	圧殺	強風
古い建物多い	電話が通じなくなる	通勤時の災害	
道が狭く心配だ	狭い道、電柱多い	家が密集している	建物密集
防備品ない	工具ない	避難所遠い	
電気・飲料水が止まること		幹線道路があるが果してそれが使えるかどうか	
他人のことも大事ですが自分自身の安全も		年より多い（若い人少ない）	
年寄りの一人住まい		住民リストない	
介護	支援	絆	

各自で備えること			
水	備蓄食	防災グッズ	個人避難用具(2~3人分)
消火器	ラジオ	電池	
家具の固定	建物の耐震		
地域で取り組むこと			
自主防災を立ち上げる		地域防災を考える	
住民の意識！			
備品準備　チェーンソー、ジャッキ		住民リスト準備	

大宮町支部

災害が起こったら不安なこと			
災害の大きさの把握	避難すべきか否か	情報の入手	逃げる所がわからない
海抜表示が大宮町ではない	動線が狭すぎる	避難所はどこかわからない	避難場所の周知
木造作りが多いのではたして避難所にいけるか		道路事情狭い。先がみえない	
組織図を作っておく			
各自で備えること			
貴重品袋を用意しておく	非常食の用意	避難道具の用意を充実さす	持ち出すもの
駅のホームの開放を求める	避難経路の確保	避難場所への経路の確保	第２場所の策定
信じられる情報源の確保			
地域で取り組むこと			
命のための要援護者の把握		老人の情報の把握	
防災組織図を作る		避難所、避難経路を明らかにしておく	